

コロナ禍を乗り切る勇氣

国による「緊急事態宣言」が解除されてから、約一ヶ月が経過し、県を跨ぐ移動が緩和されてから2週間、色々なことが緩和「ステップ3」に移行しつつあります。それに伴い社会経済活動と人の動きも活発になり、再び全国的に感染者が徐々に増えている状況が報道等で取り沙汰されています。

PCR 検査数の拡大により、陽性者数が以前よりも把握できるようになったこと、行動規制の緩和によって多くの人たちが、自由に行動できるようになったことが要因とも言われています。

今は、20代～30代が陽性者の7割近くを占めています。これらの感染者から少しずつですが、他の年代への感染を拡大させている状況が見受けられるようになってきました。

規制が緩和されてきても、新型コロナウイルス自体が以前よりも減ったわけではありません。

一人ひとりが「新型コロナウイルスに感染しない」「新型コロナウイルスの感染拡大を防止する」為に「新スタイルの生活様式」を実践していかなくてはなりません。

夏休みに帰省する予定の生徒は、久しぶりに友達と会ったりすることがあるかと思いますが、次のことは徹底してください。

- ・外出の際は必ずマスクの着用
- ・手洗いと手指消毒の徹底
- ・大声で他の人と会話はしない
- ・会食は避ける（飲食店など利用する際は、複数名で密になる状態をつらない）
- ・人混みには行かない。
- ・夜の外出はしない。（特に深夜）
- ・家族以外の自家用車などに同乗しない。

「これらのことは必要最小限のことです」

一人の感染が、何十人何百人という人たち（身近な人、地域の人や医療関係者など）に影響を与えます。

特に地方の医療機関では、施設の・人的な面で新型コロナウイルス感染者への対応が困難な場合もあります。

自分の命だけではなく、医療に従事している人たちの命も危険さらしてしまうことになります。

自分の身は自分で守ることが、自分の大切な人たちを守ることです。気を緩めないで、感染リスクに立ち向かう「勇氣」を持ってください。まだまだ、我慢が必要です！

知らないうちに、拡めちゃうから。



探究アワード始動

今年度、国立日高青少年自然の家（以下、国少）、産業学習（教育委員会）と連携して、「総合的な探究の時間」の取組として「探究アワード」を実施しています。

7/13（月）に「探究アワード」の目的について国少の是安氏から「日高を理解して、高校生の視点から地域振興の一助となることを考える」という趣旨のガイダンスがあり、「日高の自然環境」「日高の歴史文化」「日高の写真・広報」の中から生徒それぞれがテーマを選び、7/15（水）には、NPO 法人 ezorock の草野竹史 代表理事から「地域づくりの実践」と題して講演をいただきました。7/16（木）にフィールドワークを実施しました。

